

# 野村万作の 狂言の世界

人間国宝・野村万作の魅力と  
六百五十年続く伝統芸能・狂言の世界を  
わかりやすい解説付きでお楽しみください。

© 政川慎治

**解説** 野村万作

**入間川** いるまがわ  
大名 深田博治  
太郎冠者 月崎晴夫  
入間の何某 岡 聡史  
後見 福田成生

**隠狸** かくしたぬき  
太郎冠者 野村遼太  
主 野村万作  
後見 福田成生

【休憩十五分】

2022年 **3月13日** 日 14:00開演(13:30開場)  
さいたま市 プラザノース ホール

ニューシャトル加茂宮駅より  
徒歩約8分

■定員 370名(予定)

■チケット料金

全席指定 一般 3,500円  
高校生以下 1,500円

※未就学児童の入場はお断りします。  
※ご予約・ご購入後のチケットの変更やキャンセルはできません。

■発売日

●電話受付 友の会先行 2022年1月 6日(木)  
一般 2022年1月 7日(金)～

プラザノース事業係 TEL.048-669-0300 [10:00～17:00]

※電話先行予約期間(1月6日～8日)は、お一人様4枚まで承ります。  
受付順に配席するため、お席をお選びいただくことはできません。  
※友の会先行予約は販売予定枚数に達し次第、予約を終了させていただきます。  
お電話の際には会員番号をお手元にご用意ください。

●窓口販売 2022年1月 9日(日)～

プラザノース1階 総合インフォメーションカウンター[10:00～20:00]

※貸出施設点検日(平日の第2・4月曜日)は17:00まで。  
※電話受付で完売した場合、窓口販売および当日券販売はありません。

**お願い** 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来館の際にはチラシ裏面(またはホームページ)の「プラザノース主催イベントにおける感染症対策とお願い」をご確認ください。  
<http://www.plazanorth.jp/>

主催/さいたま市 プラザノース

お問い合わせ/プラザノース総合インフォメーションカウンター TEL.048-653-9255 FAX.048-653-9288

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況など、やむを得ない事情により、公演内容を変更または中止・延期する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 入間川 (いるまがわ)

長らく都に来ていた遠国の大名が、太郎冠者を連れて本国へ帰る途中、入間川に行き当たる。そこで出会った入間に住む男が「そこは深い!」と止めるのも聞かず、川を歩いて渡ろうとした大名は、深みにはまらずぶぬれになってしまう。昔から入間では「入間様」と言っている男が、逆さ言葉を使うはずだと怒った大名は、男を成敗しようとするが…。

逆さ言葉によるセリフのやりとりが面白い作品です。入間川は現在も埼玉県南西部を流れる川。狂言には珍しく、関東を舞台にしています。

## 隠狸 (かくしだぬき)

主人に隠れて狸を捕っている太郎冠者。噂を聞いた主人は、狸汁を振舞おうと客を招いたと告げるが、太郎冠者が狸など捕ったことはないと言わぬので、それならば市場で買ってくるよう命じる。実は昨夜も大狸を捕まえていた太郎冠者は、主人に黙って売ってしまおうと市場へ行くが、様子を見にきた主人と出くわしてしまう。太郎冠者は狸を隠して必死に取り繕うのだが、主人に酒を勧められると…。

主人と太郎冠者の絶妙な駆け引きが笑いを誘います。酒宴の場面に登場する狂言小舞「兎」「花の袖」「鶺鴒」も見どころとなっています。

## ■出演者プロフィール



### 野村 万作 【のむら まんざく】

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。その他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、ベストファーザー賞、朝日賞、旭日小綬章等、多数の受賞歴を持つ。



### 深田 博治 【ふかた ひろはる】

1967年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定者。能楽協会会員。万作一門の若手研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに『奈須与市語』『三番叟』『釣狐』『金岡』等を抜き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター狂言クラスを指導するほか、全国各地のワークショップで講師を勤めるなど、狂言の普及に力を注いでいる。



### 月崎 晴夫 【つきざき はるお】

1964年生。野村万作に師事。能楽協会会員。万作一門の若手研鑽会「狂言ざん座」同人。『奈須与市語』『三番叟』を抜き、「万作の会」の演者の一人として国内外の公演で活躍している。朝日カルチャーセンターをはじめ、全国各地のワークショップで講師を勤めるなど、狂言の普及に力を注いでいる。



### 岡 聡史 【おか さとし】

1980年生。野村万作に師事。能楽協会会員。「狂言のあたり乃会」同人。文化学院卒業後、狂言の道を志し入門。2012年『面箱』、2016年『奈須与市語』を抜く。



### 野村 遼太 【のむら りょうた】

1991年生。野村万作の外孫。祖父に師事。能楽協会会員。4歳の時に『靱猿』で初舞台後、修業を続け、『奈須与市語』『三番叟』を抜く。



### 福田 成生 【ふくた しげお】

1962年生。野村万作に師事。

### 感染拡大防止 対策とお願い

- ◆ご来館の際にはマスクの着用をお願いします。
- ◆手洗い・手指消毒の徹底をお願いします。
- ◆出演者との面会やプレゼントはお控えください。
- ◆かぜの症状や37.5度以上(または平熱より1度以上)の発熱がある際は、ご来館をお控えください。
- ◆個人情報適切に管理いたしますが、新型コロナウイルスへの感染が判明した場合は、保健所など公的機関からの要請により、必要に応じて情報提供を行う場合がございます。

### 交通案内

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-852-1

※※駐車場は混雑が予想されるため、公共交通機関をご利用ください。

#### 電車をご利用の場合

- ニューシャトル「加茂宮駅」から徒歩約8分
- JR宇都宮線(東北本線)「土呂駅」西口から徒歩約15分

#### バスをご利用の場合

- JR大宮駅東口より東武バス「上尾駅東口」/「吉野町車庫」行き→「北区役所前」下車
- 市コミュニティバス(平日のみ運行)「北区ルート」→「北区役所」下車

